

CASBEE® 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-新築(簡易版)2010年版 | 使用評価ソフト：CASBEE-NCb_2010(v.1.6)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)三国ヶ丘駅前PJ	階数	地上11F
建設地	大阪府堺市堺区向陵西町4丁221-1	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	XX 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	XXX 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年8月 0.0	評価の実施日	2012年7月5日
敷地面積	969 m ²	作成者	高橋亮博
建築面積	455 m ²	確認日	
延床面積	3,641 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.8 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	71%
③上記+②以外の	71%
④上記+	71%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

視環境音環境	3.3
温熱環境	2.5
空気質環境	4.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

機能性	3.6
耐用性	3.1
対応性	3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性・	2.0

LR のスコア = 3.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.4

建物の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	4.7
効率的	N.A.

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

水資源	2.2
非再生材料の	3.5
汚染物質	4.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

地球温暖化	4.1
地域環境	3.0
周辺環境	3.1

3 設計上の配慮事項		
総合 3面道路という恵まれた立地環境と、駅からのアクセスを考慮し平面計画をおこなった。 具体的には、北側から車・バイク 南側から自転車 東側から歩行者と動線を分離した計画としている。	その他 駅に近く、アクセス上恵まれた立地条件を生かしつつ周辺の植栽とも調和するように配慮した。	
Q1 室内環境 住宅性能評価における、省エネルギー等級を4としている。	Q2 サービス性能 情報設備も1Gbpsクラスのブロードバンドが利用可能な環境としている。	Q3 室外環境(敷地内) 東側線路沿いの桜並木と呼ぶように植栽を東側に配置した
LR1 エネルギー オール電化としている。	LR2 資源・マテリアル グリーン購入法適合商品であるタイルや床シートを積極的に使用している。	LR3 敷地外環境 交通負荷抑制として、70%以上の駐車場を確保している、またバッカー車の敷地内での停車スペースを確保している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	サンメゾン三国ヶ丘ゲート新築工事	BEE	BEEランク
	建設地	堺市向稜西町4丁221番1	1.8	A
	主用途 / 延床面積	集合住宅 / 3,640.77 m ²		

2. 重点項目への取組み		
重点項目	評価点	取組み度
CO ₂ 削減	4	● ● ● ● ●
省エネ対策	4	● ● ● ● ●
みどり・ヒートアイランド対策	2	● ● ● ● ●
安全快適な暮らし	3	● ● ● ● ●

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア				
CO ₂ 削減		評価項目	スコア	評価点
地球温暖化への配慮		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値	4.1	4
省エネ対策		評価項目	スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.3」のスコアによる評価値	建物全体	1.0	4
		住居・宿泊部分	3.0	
建物の熱負荷抑制		CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値	5.0	
自然エネルギーの利用		CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値	3.0	
設備システムの高効率化		CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値	4.7	
効率的運用(集合住宅は対象外)		CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値	対象外	
水資源保護		CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値	2.2	
みどり・ヒートアイランド対策		評価項目	スコア	評価点
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値	2.0	2
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値	2.0	
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値	2.0	
安全快適な暮らし		評価項目	スコア	評価点
バリアフリー計画		CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値	4.0	3
耐震・免震		CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値	3.0	
地域性への配慮、快適性の向上		CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値	2.0	
交通負荷抑制		CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値	5.0	

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項	